

一般国道58号 浦添北道路Ⅱ期線に係る新規事業採択時評価

- ・国道58号の交通渋滞緩和による地域産業活性化の支援。
- ・安全快適な観光活動や那覇港・那覇空港へのアクセス向上による観光産業の支援。

1. 事業概要

- ・起終点 : 沖縄県宜野湾市宇地泊～浦添市宇港川
- ・延長等 : 2.0km(第1種第3級、6車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約280億円
- ・計画交通量: 約38,700台/日



②観光客の安全性低下

- ・周辺地域は、観光施設の集積が著しい。(図3、4)
- ・観光客の集客が見込まれる浦添市の西海岸沿岸では、都市型開発や大型複合施設等の開発が推進されている。(図5、6)
- ・一方で、並行現道区間における観光時期の観光客の事故は、直轄国道平均の約3倍、平日は約2倍と観光客の安全で快適な観光行動を阻害。(図7)



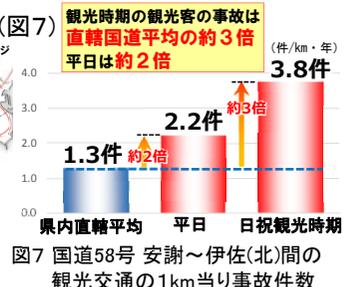
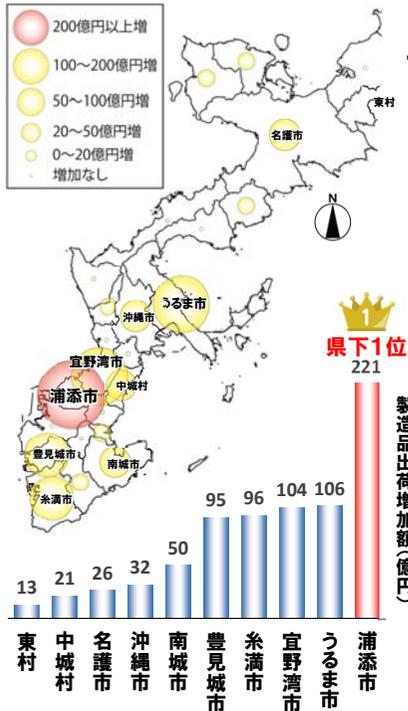
乗用車	小型貨物	普通貨物
約27,200台/日	約5,200台/日	約6,400台/日

※合計値は表示桁数の関係で一致していない

2. 課題

①西海岸地域の産業活性化を妨げる渋滞

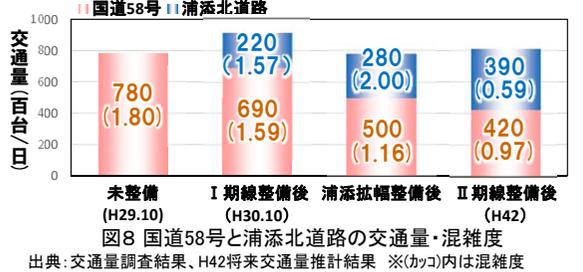
- ・近年、浦添市は製造業関連を中心に成長が著しく、ここ10年で製造品出荷増加額は県下トップとなる約221億円。(図2)
- ・一方、浦添北道路(暫定2車)がH30.3に開通したものの、朝夕ピーク時を中心に渋滞が発生。今後も県内最大のショッピングセンターが開業し、更なる渋滞が懸念。(写真①、②)
- ・また、並行する国道58号は依然として交通混雑が著しく円滑な産業活動を阻害。(写真③、④)



3. 整備効果

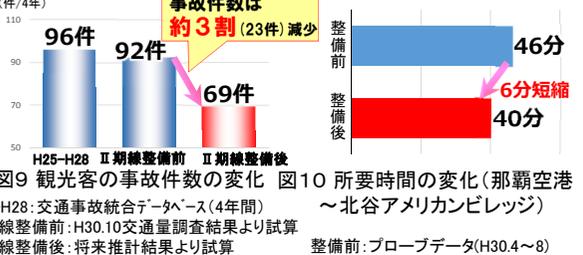
効果1 地域産業活性化の支援【◎】

- ・浦添北道路Ⅱ期線の整備により、国道58号の交通混雑が緩和され、西海岸地域の産業を支える物流の効率化により、更なる地域産業の活性化を支援する(図8)。



効果2 安全快適な観光の支援【○】

- ・観光施設の集積や開発が進む浦添市沿線における、観光客の安全で快適な観光活動に寄与する。(図9)
- ・沖縄西海岸沿線と那覇空港・那覇港とのアクセス向上により、更なる観光産業の発展が期待される。(図10)



・費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.9	7.7%	212億円※2	403億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率
 ※2: 基準年(H30年)における現在価値を記載 (現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

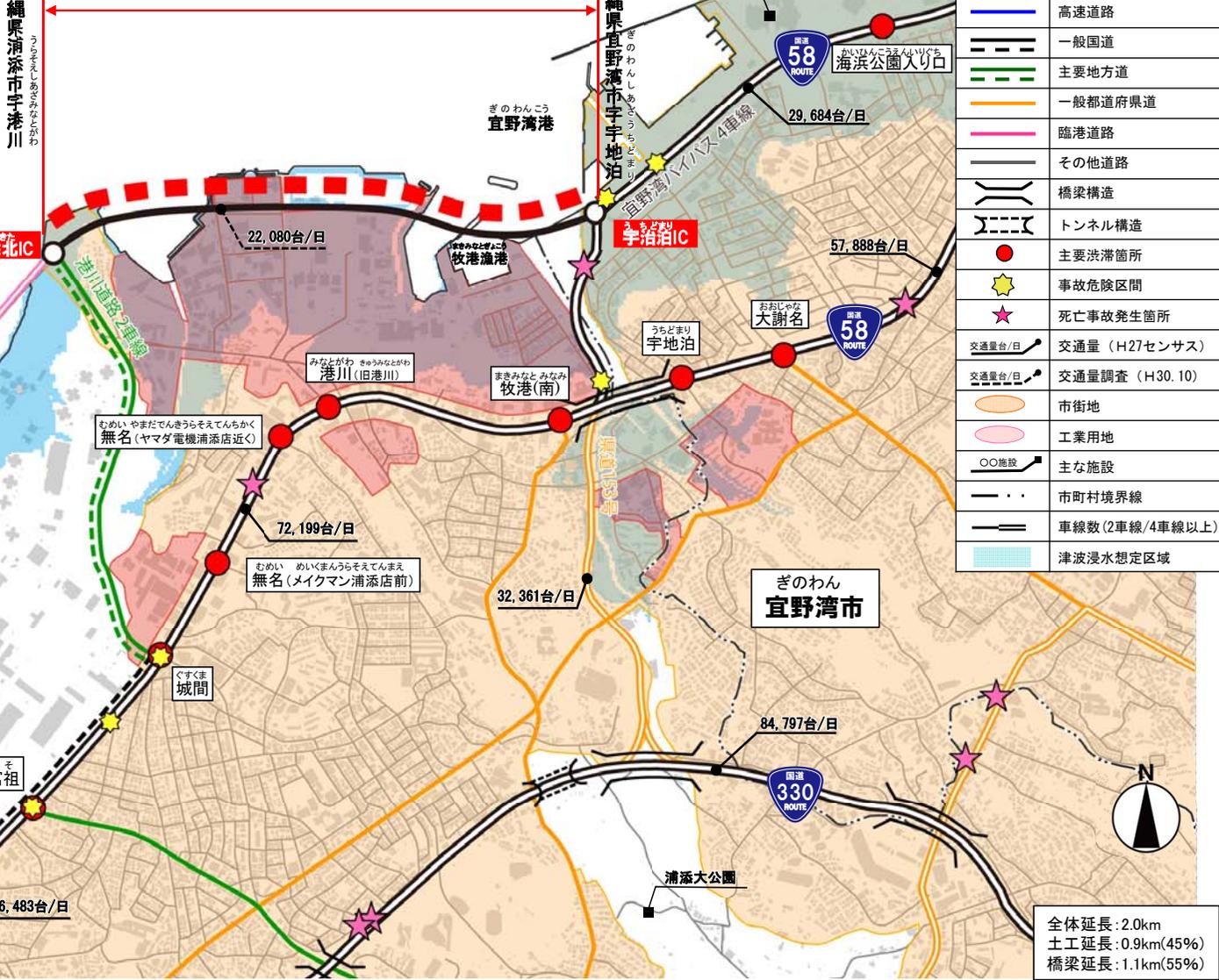
一般国道58号 浦添北道路Ⅱ期線に係る新規事業採択時評価



- 陸側：Ⅰ期線（暫定2車線）
H30.3開通済み
- 海側：Ⅱ期線 今回事業化要望



うらそえきた 浦添北道路Ⅱ期線 延長2.0km



全体延長:2.0km
土工延長:0.9km(45%)
橋梁延長:1.1km(55%)

